

3年道徳通信

第30号

第30回 『巣立ちの歌が聞こえる』

S中に転校してきた「私」と石丸さんは、「荒れた」状態をよいとは思っていないものの、何もすることはできませんでした。しかし、ある出来事をきっかけに、校舎の掃除を始めます。その動きはクラスから学校中に広まり、問題を起こしていた生徒たちも参加するようになりました。

卒業まであと33日。自主的に校舎を掃除したり修理したりした生徒たちの物語を通して、よい校風を作り、継承していくために大切なことを考えました。

みんなの意見

私たちの学校の良いところは何だと思いますか？

- 人数が多いところ
- 部活が強い
- 行事に本気
- 明るいところ
- スポーツが活発
- ベルマークやエコキャップを回収しボランティア活動に積極的
- あいさつができる
- 毎日にぎやかで楽しい学校
- いじめが少ないところ
- 学校行事の中で一体感を感じられるところ
- 楽しく安全に過ごせるところ
- 当たり前のことを当たり前できている人が多い
- あいさつや礼儀をきちんとするところ

卒業するまでの間に学校の一員として、どんなことができると思いますか。

- 最後までしっかり校則を守る。
- 落書きを消す。修理する。
- あいさつを自分からする。
- 輪でつないでいく。みんなが過ごしやすい雰囲気を作っていく。
- 良い雰囲気を出していく。掃除を頑張る。
- 最後までルールを守り続ける。最後まで胸を張ってこの中学校の生徒として過ごす。
- 校風は学校にいる先生、生徒みんなの雰囲気できると思うから、卒業まで態度を崩さずに今まで通り生活したい。
- ひとりひとりの行動できまる。卒業するまでに悔いの残らないようにする。
- 東輝中の人たちが一人一人の役目を果たすことによって校風はつくられていくと思う。
- 元気に学校に来ること。
- みんなが学校をよくするために動こうと頑張る姿が校風になっていくと思う。学校のいいところやみんなのいいところをたくさん見つけて毎日笑顔で過ごす！東輝中で良かったと思えるようにする！

よい校風を作り、継承していくために大切なことは、何だろう。